

親睦活動委員会 丸山委員長

夏忘れ会のご案内

日 時 8月27日(火) 19:00～

会 場 さどや

登録料 5,000円

青少年奉仕並びにライラ委員会 赤塚委員長

ライラ研修参加申し込みのお願い

日 時 10月5日(土)・6日(日)

会 場 国立赤城青年の家

※8月10日の締め切りをだいぶ経過しております。申し込みは早めをお願いします。

ニコニコボックス:

外山 晴一 君 娘とイタリアを旅行して来ました。メイクアップして来ようと思いましたが8月はイタリアはバカンスで例会も事務所もクローズして出来ませんでした。8月のイタリアは中国のようにロータリークラブの無い地域あつかいにして出席義務を免除してもらえないものでしょうか。

芦田 義重 君 斉藤さんからミニ国体出場の御祝を受けた御礼に!! 草野球で間違っって県代表となり8月23、24、25日長野県上田市へ行ってきました!!

齋 藤 正 君 芦田さんのミニ国体出場を祝福して頑張れ

山上 茂夫 君 お盆休みの1日下田村湖底イベントへ行ってきました。自然は雄大でした。島田理事長さんの卓話を楽しみにしています

今井 克義 君 プライベートな事ですが今日はお祝い事がありますので。

馬場 直次郎 君 明日長男が1歳3ヶ月になります。おぼえた言葉はうんま、おみず、お母さん、おばさん、ヤッホーしかしお父さんだけは未だ出てきません、やっぱり父親が一番最後のようです。

梨本 清一 君 島田JC理事長の卓話が楽しみです。ぬるま湯につかっているロータリーアンに思いきりハッパをかけてやって下さい。

堀川 正幸 君 良いお盆でした。やっと夏が来たようですが皆様体調にお気をつけて、

大野 新吉 君 ボックス担当の山口さんの隣りにたまたま座った幸運に感謝して、時期はずれのお盆休み母親78才、妻とせがれの3人、5年勤続の社員と一緒にグアム島旅行に行きまして今朝妻より国際TELがあり、一同楽しんでいる様子の電話がありました。帰るまで心配しております。

佐藤 文夫 君 白倉さんようこそ、

平松 利朗 君 島田さんご多忙の中、お出掛けありがとうございます。

小林 満 君 ボススに協力して

淵 岡 茂 君 本日の島田理事長の卓話大変御苦労様です、宜しく申し上げます、

鈴木英友君 BOXに協力して

山 本 充 君 三条JC島田理事長さんのお話を、楽しみにしています

丸山誠一君 8月27日夏忘れ会です、全員のご出席お願い致します、今日は島田理事長ようこそ、

早川 瀧 雄 君 お盆の休日北海道旅行を楽しみました。帯広で偶然佐藤啓作さんに逢いました。北海道は広いなあ。今日の卓話島田さん楽しみにおります。

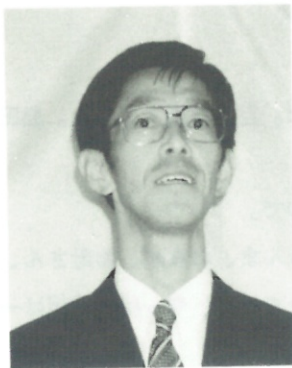
加 藤 実 君 本間さんに協力して

羽賀一夫君 コメントは有りませんがよろしかったら本間さん何か一曲うたって下さい

本間建雄美君 島田幸広様の卓話、楽しみにしています、又、皆様方の日々の楽しい話題、ニコニコBOXに協力下さいまして有難とうございます。

稲田 憲 治 君 秋立つ日に詠める、「朝立ちと目にはさやかに見えねども、妻の声にぞおどろかれぬる」（古金集）？ 意味 朝、旅立つという自覚はうすれていたが布団の中で「あら、お立ち？」という妻の声に、あー旅立つのだなーという感慨深い意。他意はない。（歌の部分をもう一度読んで下さい）

卓 話： (社)三条青年会議所25代理事長 島田幸廣様



21世紀へのカウントダウンが始まった今、世界は急激に速度を増しながら変化し続けています。次々と、絶え間なく押し寄せる変化の波から、一瞬も目を離すことができません。「湾岸戦争」のような衝撃的な展開が起きると誰が予期したでしょうか。

今日のテーマが「地域社会を理解しよう」という事ですので、我が青年会議所の現状をご理解頂き、その後現在、実施している運動を紹介し、その立場から、街づくりの考え方を色々な角度から見たいと思います。最後に、小生自身が今年度、実施させて頂いている、手紙作

戦を皆様方に御紹介をさせて頂き、終了させて頂きます。

1990年をもって、“団塊の世代”といわれる人々が全員、青年会議所を卒業されました。彼らは、熾烈な受験戦争を巻き起こし、大学では学園紛争が吹き荒れ、大変なパワーを発揮されました。その後、無気力、無感動、無関心の世代がキャンパスに溢れ、そして今、新しい価値観と人生観を持ったメンバーが次々と人會するようになった青年会議所も、このままでは、同じような問題を生み出してしまいう危険性を含んでいます。新世代が何を求めて入会してくるのか、“明日の声”を傾けなければなりません。もし、青年会議所自身の体質を改革しなければ、今までのような魅力あふれる青年会議所運動は持続できないと思います。これからの人材は、個性を尊重し、減点型人事評価から、加点型人事評価をしなければ育ちません。団塊の世代がリードしてきた青年会議所運動と匹敵するパワーを持つ“明日の青年会議所運動”にするためには、若い力を思い切り発揮でき